

信(しん)頼と伝(でん)統 『生き生き元気、伸び育つ新田っ子』
～『新田共育』 学校・家庭・地域の共育力で確かな成長を実感できる学校を目指して～

今月の共育目標

学習・生活を振り返る

学校の重点：1学期の成果と課題を明確に示す 夏休みの過ごし方の指導
家庭・地域：成長を認め、新たな目標に向かう姿勢を励ます

「やり抜く力(GRIT)」を



校長 小崎 賢司

6月11日(土)に、保護者の皆様のご協力をいただき「小中合同引き渡し訓練」を実施しました。当日は、スムーズな引き渡しが行われましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

その約1週間後の6月19日、石川県能登で震度6弱の地震が発生したという情報。その後も強い揺れが頻発しているとのこと。また、26日には熊本県で震度5弱の地震。本当に驚きと共に、改めて備えの重要性を実感しました。いつどこで発生するか解らない地震です。常にソフト・ハードの両面での備えをしておかなければならないと思います。

明日から7月。1学期も残り約3週間となりました。梅雨の時期とはいえ、6月中に猛暑日を記録するなど、暑さも一段と厳しくなっています。コロナ感染と熱中症には引き続き強い警戒感をもって取り組みを継続していかなければなりません。そして、学習や生活の振り返りを通して、子どもたちが1学期の成果を実感し、2学期も頑張ろうという意欲が持てるように課題を明確にしていきたいと思います。

さて、過日の懇談会では夏休みの課題等も話題にいたしました。学期末には各学級でも夏休みの課題に対して「やり抜く力(GRIT)」が身につくように、計画的な過ごし方等を指導していきたいと思っています。各ご家庭におかれましても、お子様への励まし等にご協力をお願いします。

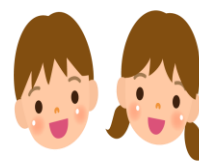
「GRIT」とは、

Guts：困難なことに立ち向かう・Resilience：失敗しても諦めずに続ける

Initiative：自分で目標を見据える・Tenacity：最後までやり遂げる

の頭文字4つからできたものだそうです。

端的に表現すると「やり抜く力」を意味しますが、生まれ持った才能や資質ではなく、後天的に伸ばすことのできる情熱や粘り強さということです。



「GRIT」は、短距離走ではなく、長距離走と言われます。例えば、マラソン選手にとって沿道の声援が大きな力となるように、計画的に物事に取り組み、最後まであきらめずにやってみようと思う子どもたちにとって、保護者の方からの声援は欠かすことのできない大きな力であると思います。「GRIT」を伸ばそうと頑張るお子様に、ぜひ、機会を捉えて継続的に声援を送っていただければ幸いです。

声援とは…「ほめる」こと(現状を肯定的に受け止めてほめていくこと)

「できたらほめる」のもいいですが「やろうとしたらほめる」(努力の過程を認めること)大切なことは、「結果を評価する」以外に、「継続して取り組む過程を認める」ことです。

「よくできたね」と言われることも励みになりますが、子どもがやろうとしている意欲や姿がうれしいということを伝えたり、「頑張っているね」と、今やっている、やろうとしている姿を認めてあげたりすることが効果的なものかもしれません。

子どもが嬉しいのは、「自分がやりたいと思っていたことを認めてもらえること」

「小さなやる気・意欲」をほめて認めて、「やり抜く力(GRIT)」を育てていきましょう。

参考にしていただければ幸いです。